

報告 2 営業路線「明智線」の運行支援について

1. 概要

令和 4 年 3 月 10 日、東濃鉄道(株)が運行する営業路線「明智線」について、赤字額の増加に伴い継続運行が厳しいため、市からの支援を受けて運行継続したい旨の申し出がありました。

当路線が瑞浪市と恵那市を跨ぐ路線であることから、岐阜県が関係者を集めた会議により協議を進めてきました。

協議の結果、利用者に影響のない範囲で減便し、2 市で支援を行いながら運行継続することとなったので報告いたします。

2. 経緯

R04.03 営業路線の運行支援の申し出を受理

03~07 瑞浪市との調整

岐阜県地域公共交通協議会中濃・東濃地域分科会小部会にて
対応方策を協議

3. 協議結果

東濃鉄道(株)、瑞浪市、恵那市の 3 者は、赤字額を次のとおりで補う。

(配分)

東濃鉄道(株) 赤字額の 1/2

瑞浪市 赤字額の $\{ 1/4 \times 1/2 (\text{均等割}) \} + \{ 1/4 \times 77.7\% (\text{距離割}) \}$

恵那市 赤字額の $\{ 1/4 \times 1/2 (\text{均等割}) \} + \{ 1/4 \times 22.3\% (\text{距離割}) \}$

4. 支援時期

令和 5 年度以降

5. その他

減便案 (平日 19 便、土休日 10 便)

現 行 (平日 22 便、土休日 12 便)